

えがお大東っ子 第25号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

～大東市教育ビジョン～


今年度もすすめます!



後期基本計画 3つのビジョン

大東市では、経済・社会のグローバル化、絶え間ない技術革新、少子高齢化などの激しい社会変化や、多様な価値観が交じり合う複雑な社会の中で、子どもたちが健やかに、たくましく生きる力を育むために、「3つのビジョン」を策定しています。

ビジョン I	人間関係づくり ～「自他を大切に作る心」・「人と信頼関係を築く力」を育む～
ビジョン II	授業づくり ～「自ら学ぶ力」・「学び合う力」を育む～
ビジョン III	教育環境づくり ～学校園・家庭・地域社会が協同する～



各学校園では、学習内容を確実に身に付け、自ら学び、自他を大切にし、人とのつながりの中で夢や目標を持って成長できる子どもの育成をめざしています。そのために、従来の教員主導の授業ではなく、子どもが得た知識をもとに、仲間とコミュニケーションをとりながら意欲的・主体的に課題を解決する中で、互いに認め合い、高め合いながら学習を進める「学び合う授業づくり」を進めています。

また、大東市教育委員会でも、学校園をより安心・安全で豊かな学びの場とすべく、教育ビジョンを柱として、さまざまな事業の実施及び教職員研修などを通して学校の指導力向上を図ってまいります。

ご家庭でも、学校園での学びの礎となる次のような力を身に付けられるよう、引き続きお力添えをお願いします。

- 規則正しい生活習慣……………早寝・早起き・朝ごはんを心がけましょう
- あいさつができる……………あいさつをする習慣をつけてください
- 人の話をしっかり聴ける……………身近な大人が聴き上手のお手本を示しましょう
- 丁寧な言葉づかいで話せる……………相手や場にふさわしい言葉づかいをしましょう
- 家庭学習の習慣……………自ら学ぶ力、学び続ける力の育成と学習環境づくりを!
- 読書の習慣……………幅広い知識や多様な感性、豊かな表現との出会いを大切に!
- 高い自尊感情……………子どもを認め、良いところを積極的に伝えましょう



地域ファミリースポーツ

〔深野ブロック大会〕

この大会は、誰もが気軽にスポーツを楽しめるように、ルールが簡単なニュースポーツを取り入れ、大東市スポーツ推進委員が開催しています。

種目は、毎年実施しておなじみのキンボールに加え、スポーツ推進委員が考案した「ボール de ビンゴ」を行います。

キンボールは直径 122 cm の巨大なボールを使い、ピンク・グレー・ブラックに色分けされた 3 チームがコートに入り、サーブやレシーブを繰り返しながら、得点を競います。

また、ボール de ビンゴは、6m 先のビンゴ盤の穴をめがけ、ボールをころがし得点を競います。

いずれも 1 チーム 4 人で行いますが、1 人でも参加できます。日頃、運動不足と感じている方、この機会に一度参加してみたいかでしょうか？ご家族揃ってのご参加もお待ちしております。



- 日 時：平成 27 年 6 月 7 日（日）9:30 から
- 場 所：大東市立深野小学校 体育館
- 種 目：キンボール、ボール de ビンゴ
- 持ち物：体育館シューズ
※水分補給は各自でお願いします。
- 参加費：無料

平成 28 年度使用教科書展示会

平成 28 年度から中学校で使用する教科書の見本を展示しています。希望される方は期間内に閲覧することができます。

展示期間：6 月 1 日（月）～7 月 8 日（水）
午前 9 時～午後 5 時 30 分（土・日曜日は休館）

展示場所：大東市教育研究所（市民会館 5 階）

*なお、東部図書館及び西部図書館でも展示しております。
（各館の開館時間等につきましてはHP等でご確認ください）

問い合わせ先：大東市教育研究所（TEL：072-870-9107）



子どもの成長を支えるために



子どもであっても大人であっても、日々生活していく中で不安や悩みを抱えることはあります。大東市教育委員会で開室している「ふれ愛教室ボイス」や「教育相談室」は、そんな子どもたちや保護者の方々をサポートする場所です。

ふれ愛教室ボイス

■開室日

火・木曜日：13:00～17:00

水・金曜日：11:00～15:00

■場 所：幸町8-8

キッズプラザ2階

■連絡先：072-874-8701



「ふれ愛教室ボイス」は不登校対策事業の一環として開室しています。さまざまな理由で学校に行きたくても行けない小中学生が通室する場所です。「ふれ愛フレンド」と呼ばれる指導員とともに自主活動を行い、子どもたち一人ひとりのペースに合わせ、時に背中をそっと押し、子どもたちが自分自身で未来を切り拓いていく力をつけてほしいとの思いで取り組んでいます。

また、みなさんの相談に教職経験豊かなスタッフが対応する「教育相談室」は、「子どもが素直に言うことを聞かない…」「家庭学習の習慣をつけさせたい…」「子どもがいじめられているかも…」「学校に行きたがらない…」など、いろいろな悩みを相談できる場所です。

お子様のおられる家庭であれば、どの家庭でも少なからず子育ての悩みがあるのではないのでしょうか。「来室」「電話」のどちらでも結構です。メールでの相談も教育委員会ホームページから受け付けております。些細なことでも結構ですのでお気軽にご相談ください。

教育相談室

■開室日：月～金曜日

10:00～15:00

■場 所：幸町8-8

キッズプラザ2階

■連絡先：072-874-8785



大東学び合いネットとは？



大東市教育委員会ホームページより「大東学び合いネット」にアクセスしていただくと、市内小・中学校20校のホームページを見ることができます。「今日のピックアップ」コーナーでは、各校の最新情報を1校ずつ順番にタイムリーに発信しています。

また、全小・中学校で取り組んでいる「大東ステップアップ学習プリント」も掲載し、ご家庭向けに問題と解答を配信しています。お子さんの家庭学習に是非ご利用ください。



小・中学校での食育の紹介

大東市の幼稚園・小学校・中学校では、それぞれ食育担当者を決め、食育の推進に取り組んでいます。とりわけ小・中学校では給食をただの食事としてだけではなく、食育のための教材としても位置づけています。今回は小学校と中学校の取組みについて紹介します。



5月は住道中学校の保健委員が考えた献立です。「わかめごはん・焼肉炒め・ポテトサラダ・枝豆コーンソテー・牛乳・ココアのミルク」

中学校給食 スペシャル献立



中学校では、生徒が献立を考える「スペシャル献立」の取組みを行っています。「食」について生徒が主体的に考えようという気持ちを育てることがねらいです。

4月は南郷中学校、5月は住道中学校の生徒が考えました。自分たちが好きな食材だけを選ぶのではなく、栄養のバランスはもちろん、彩りなども考慮します。「スペシャル献立」は大変好評で、生徒たちもよく食べているようです。生徒たちの「食」への意識が高まるよう願っています。



さやむきに挑戦 ～給食 豆ごはん～

5月11日に深野小学校3年生は、さやえんどうのさやむきに挑戦しました。授業前の時間を使い、各クラスで班に分かれて取り組みました。子どもたちは楽しく作業を続け、山のようにあったさやえんどうが、みるみるうちにさやと豆に分けられました。3年生によってむかれた豆は、その日の給食の「豆ごはん」に使われ、調理されました。普段は豆ごはんが苦手な子も、「自分たちがむいた豆だからおいしく感じた」と言ってよく食べることができたようです。子ども自身が給食の調理に関わることで、食べ物に対する意識が前向きになるよい例です。さやえんどうのさやむきは、他にもたくさんの学校で行われている取組みです。



大東市の地産地消をもっとアピールしよう！



昨年度、大東市小学校教育研究会（市小研）の「栄養士・栄養教諭部会」では、研究テーマを「大東市の地産地消（米づくり）をもっとアピールしよう！」と設定して研究活動に取り組みました。

活動としては、実際に谷川地区の田んぼを訪れ、生産者の方に取材を行ったり、また、泉小学校5年生の米づくり体験の見学や稲の生長について定期的に観察したり記録したりしました。生産者の方からは、子どもたちへのビデオメッセージもいただきました。最後に掲示物やスライドを作成し研究のまとめとしました。

今後は、作成した教材を食育や社会科の授業で活用し、大東市の地産地消について、子どもたちに理解を深めていきたいと考えています。



本物の稲を使用した掲示物